

A02-9

# 双性イオン型中性ラジカルを基盤とした高次元・高密度共役強相関電子系の創出

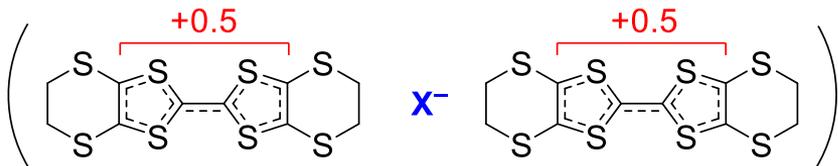
研究代表者：上田 顕 (熊本大)

A02班のミッション：分子間相互作用の最大化により高密度共役を固定化する

## A02-Xの狙い

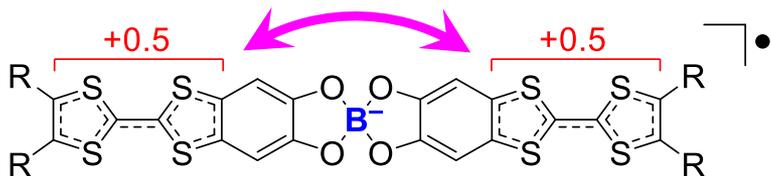
- 分子内/分子間相互作用の連動による共役電子系の高次元化・高密度化
- 従来の二成分型電荷移動錯体では実現不可能な新しい強相関電子系の創出

二成分型電荷移動錯体を「単一中性分子化」



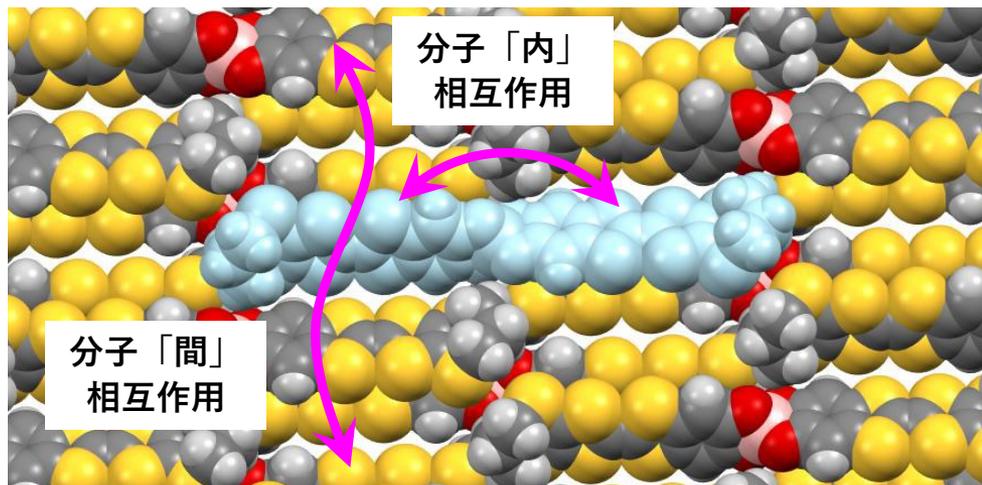
カチオン分子 対アニオン分子 カチオン分子

共有結合で連結 ↓ 双性イオン型「中性」ラジカルに



分子内に電子的相互作用 (電荷・スピン自由度)

対アニオン絶縁層無しの高密度集積構造



分子内・分子間を通して高次元・高密度に共役した新しい強相関電子系